

集会案内

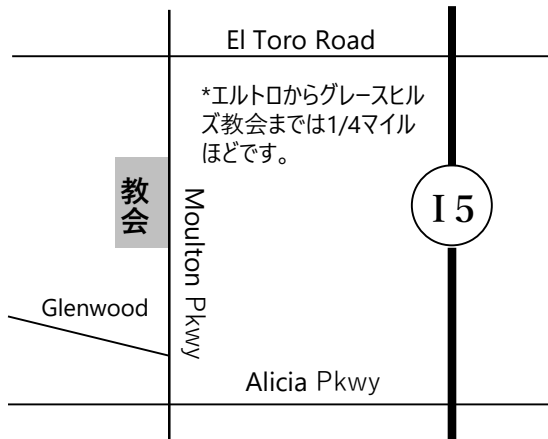
毎週日曜： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
 礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
 茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
 聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
 10 : 30 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
 24521 Moulton Pkwy
 Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 12年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先：

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
 Eメール：sugimura1950@gmail.com

田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
 Eメール：mt.moriya77@gmail.com

Rev. Tsukasa Sugimura

◎石叫 ■ 「視点を變えると」

視点を變えると大きな変化が起きます。ある幼稚園で運動会の練習が始まりました。クラス全員が交代で走るリレー種目がありました。いつも、あるクラスが最下位でした。生まれつき足の悪い子がそのクラスにいたので、彼の番になるとスピードが落ちてしまうのです。「お前のせいで、また負けた」。子供たちは時として残酷なことを言います。一人の男の子が家に帰って、「あの子のせいで、いつも負けるんだ」と苛立って話しました。クリスチャンの両親はその話を聞いて心を痛め、視点を變えるように諭しました。「もし、あなたがその子だったらと考えるとどうですか。何かやり方があるはずよ」。運動会の予行演習の日になりました。その男の子は、クラスのみんなを集めて提案しました。「僕、考えたんだ。最初に、足の遅い君が走るんだ。そして、みんなが遅れを取り戻す。そしたらきっと勝てるよ」。ヨイ、ドン。足の悪い子が最初に走り、次は、あつという間に離されました。けれども今日はクラスのみんなの様子が変わります。「がんばれ！がんばれ！」いつもの罵声は熱い声援に変わりました。次の走者は遅れを取り戻そうと必死に走ります。次の子も、また次の子も、いつも以上に頑張りました。順位は徐々に上がり、最終走者はついにトップでゴールインしました。子どもたちは足の悪い子に殺到して取り囲み、「やった！やった！君のおかげで勝てたよ！」とその子の健闘をたたえ、視点を變えるだけで何かが変わります。(平湯晴彦・『羅府新報』二〇一八年七月十二日付)

視点を變えると、何か光が見えてくるものだ。一つには信仰の目で見ることである。約束の肉の目で現実を見てしまったため、恐れて正しい評価ができず、待っていた民に、その地の町は堅固で大きく、強く、背の高い人々だと言って、攻められない旨を伝えた。一方、信仰の目で見ていたカレブとヨシユアは「わたくしたちは必ず勝つことができます」(民数記一三・30)と言ったのだが、遅きに失した。現実のみを見ていた民は、十人の報告を鵜呑みにしてしまい、戦うどころではなかったのだ。肉の耳は肉の声に耳を貸すからだ。もし民が信仰という神の目で見えていたら、全く別の行動をとり勝利を得ていたであろう。

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。